

バンダイこどもアンケートレポート Vol.224

「小中学生のスポーツに関する意識調査」結果

TOPIC①: 体育の授業以外で行っているスポーツの総合 TOP3 は「水泳」、「サッカー」、「テニス」。
親の「体力づくりをさせたい」という意向に加え、子ども自身も「体力づくり」の目的が多数。

TOPIC②: 子どものスポーツにかかる年間費用の平均は、55,617円。
親は、「金銭面」に加え、「送り迎え」、「一緒にスポーツを行う」などのサポートも。

TOPIC③: 小中学生が一番好きなスポーツ選手は、浅田真央選手。
僅差の2位には錦織圭選手、3位には羽生結弦選手がランクイン。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、10月12日(月・祝)の「体育の日」およびスポーツの秋にあわせ、小学2年生、5年生、中学2年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)840人を対象に、「小中学生のスポーツに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間 2015年9月4日(金)~9月6日(日))

TOPIC①: 体育の授業以外で行っているスポーツの総合 TOP3 は「水泳」、「サッカー」、「テニス」。
親の「体力づくりをさせたい」という意向に加え、子ども自身も「体力づくり」の目的が多数。

【体育の授業以外で行っているスポーツ】

(単一回答、選択式)

男女総合TOP5		
1位	水泳	16.5%
2位	サッカー	9.2%
3位	テニス	6.3%
4位	野球	3.8%
5位	バスケットボール	3.1%

男子総合TOP3		
1位	水泳	17.6%
2位	サッカー	17.4%
3位	テニス	8.1%

女子総合TOP3		
1位	水泳	15.5%
2位	テニス	各4.5%
	ダンス	
3位	バスケットボール	各3.3%
	バレーボール	
	体操・新体操	
	バトミントン	
	クラシックバレエ	

子どものスポーツへの関わり方について探るため、「学校の体育の授業以外でスポーツをしているか」を聞いたところ、体育の授業以外でスポーツをしている子どもは全体で65.2%(男子72.9%、女子57.6%)となりました。

行っているスポーツの内容を聞いたところ、1位は「水泳」(16.5%)となり、2位「サッカー」(9.2%)、3位「テニス」(6.3%)、4位「野球」(3.8%)、5位「バスケットボール」(3.1%)となりました。1位の「水泳」は、男女別のランキングでも1位で、男女ともに定番のスポーツであることがうかがえます。

体育の授業以外にスポーツをはじめた理由(ランキング詳細は次頁に記載)を聞いたところ、「体力づくりをさせたいから(親の意向)」(51.3%)、「体力づくりをしたいから(子どもの意向)」(40.0%)が多数を占めました。「子どもに体力づくりをさせたい」という親の意向に加え、「体力づくりをしたい」という子ども自身の思いからスポーツを行っていることが読み取れます。

はじめた理由をスポーツ別に分析すると、1位の「水泳」は、「体力づくりをさせたい」(親の意向)という回答が7割以上を占め、体力づくりのために親が子どもに習わせる定番のスポーツであることがわかります。また、2位の「サッカー」は、「友だち・兄弟がやっているから」(子どもの意向)が5割以上となり、同年代の子どもたちの影響が強い傾向にあることが読み取れました。3位の「テニス」は、「体力作り」と親子ともに半数近くが回答したことに加え、「親子のコミュニケーション」のために実施している、という

回答も見られました。また、4位の「野球」は、「親がそのスポーツが好きだから」という回答が目立ち、親の嗜好に影響を受けているという傾向が見られました。

【スポーツをはじめた理由】（複数回答、選択式）

親の意向		
1位	体力づくりをさせたいから	51.3%
2位	親(自分)がそのスポーツが好きだから	10.8%
3位	子どもの友だち・兄弟がやっているから	10.0%

水泳(親の意向)		
1位	体力づくりをさせたいから	76.3%
2位	学校の授業対策	18.7%
3位	親(自分)が経験者だから	13.7%

サッカー(親の意向)		
1位	体力づくりをさせたいから	44.2%
2位	お子様の友だち・兄弟がやっているから	14.3%
3位	親子のコミュニケーション	7.8%

テニス(親の意向)		
1位	体力づくりをさせたいから	45.3%
2位	親(自分)がそのスポーツが好きだから	18.9%
3位	親(自分)が経験者だから	17.0%

野球(親の意向)		
1位	体力づくりをさせたいから	40.6%
2位	親(自分)がそのスポーツが好きだから	28.1%
3位	親(自分)が経験者だから	9.4%

子どもの意向		
1位	体力づくりをしたいから	40.0%
2位	友だち・兄弟がやっているから	35.2%
3位	親がそのスポーツが好きだから	9.1%

水泳(子どもの意向)		
1位	体力づくりをしたいから	45.3%
2位	友だち・兄弟がやっているから	25.9%
3位	学校の授業対策	14.4%

サッカー(子どもの意向)		
1位	友だち・兄弟がやっているから	51.9%
2位	体力づくりをしたいから	40.3%
3位	親がそのスポーツが好きだから	11.7%

テニス(子どもの意向)		
1位	体力づくりをしたいから	45.3%
2位	友だち・兄弟がやっているから	34.0%
3位	親が経験者だから	11.3%

野球(子どもの意向)		
1位	親がそのスポーツが好きだから	37.5%
2位	体力づくりをしたいから	34.4%
3位	友だち・兄弟がやっているから	28.1%

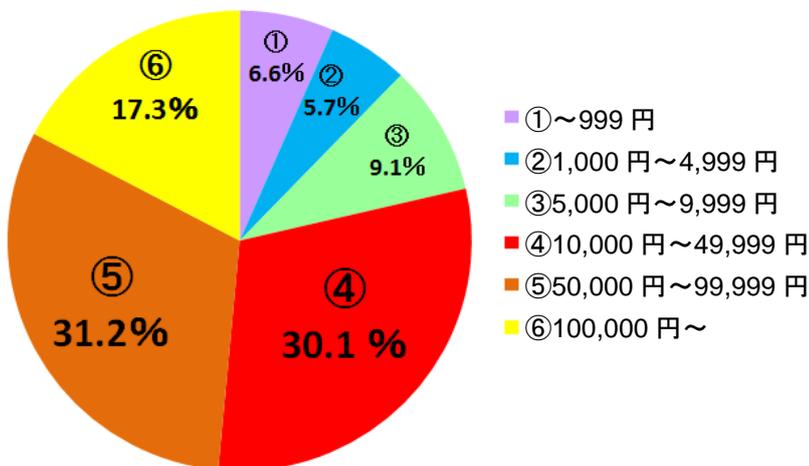
TOPIC②: 子どものスポーツにかかる年間費用の平均は、55,617 円。

親は、「金銭面」に加え、「送り迎え」、「一緒にスポーツを行う」などのサポートも。

体育の授業以外にスポーツを行っている子どもの親に、スポーツにかかる年間費用を聞いたところ、平均金額は、55,617 円となりました。金額の分布としては、「50,000 円以上 100,000 円未満」が最も多く 31.2%で、最高金額は 720,000 円となりました。

行っているスポーツごとの年間費用を見たところ、行っているスポーツ上位 5 種では「水泳」が 66,987 円、「サッカー」が 52,695 円、「テニス」が 54,925 円、「野球」が 46,828 円、「バスケットボール」が 34,692 円となりました。 ※スポーツごとにサンプル数が異なるため、参考値となります。

【子どものスポーツにかかる年間費用】



行っているスポーツ上位5種の平均金額(参考値)	
水泳	¥66,987
サッカー	¥52,695
テニス	¥54,925
野球	¥46,828
バスケットボール	¥34,692

また、子どもが行っているスポーツにどのように親が関わっているかを聞いたところ、「必要な出費を負担する」という金銭面でのサポートに加え、「送り迎えをしている」、「試合・発表会を見に行っている」、「アドバイスをしている」、「一緒にそのスポーツを行っている」などの回答が多く見られました。子どもがスポーツに取り組むための環境づくりをしながら、親子で一緒にスポーツに向き合っている様子がうかがえます。

TOPIC③：小中学生が一番好きなスポーツ選手は、浅田真央選手。

僅差の2位には錦織圭選手、3位には羽生結弦選手がランクイン。

【好きなスポーツ選手】（単一回答、選択式）

男女総合TOP10				男子総合TOP5			
1位	浅田真央	(フィギュアスケート)	13.1%	1位	錦織圭	(テニス)	13.3%
2位	錦織圭	(テニス)	12.7%	2位	本田圭佑	(サッカー)	7.9%
3位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	7.6%	3位	ウサイン・ボルト	(陸上)	7.1%
4位	ウサイン・ボルト	(陸上)	各5.1%	4位	イチロー	(野球)	6.7%
	木村沙織	(バレーボール)		5位	ネイマール	(サッカー)	6.4%
6位	本田圭佑	(サッカー)	4.9%	女子総合TOP5			
7位	イチロー	(野球)	4.2%	1位	浅田真央	(フィギュアスケート)	23.8%
8位	ネイマール	(サッカー)	3.8%	2位	錦織圭	(テニス)	12.1%
9位	坂本勇人	(野球)	2.5%	3位	羽生結弦	(フィギュアスケート)	9.5%
10位	澤穂希	(女子サッカー)	2.1%	4位	木村沙織	(バレーボール)	8.6%
				5位	澤穂希	(サッカー)	3.1%

好きなスポーツ選手では、今シーズンから試合に復帰した浅田真央選手が総合1位となりました。特に女子からの人気が高く、女子でのランキングでは2位以下を大きく引き離す結果となりました。好きな理由としては、「かわいい」という外見の魅力、「スケートが上手」、「演技が素晴らしい」という技術面をあげる回答に加え、「努力家だから」、「小さい頃からプレッシャーに耐え頑張っているから」などのコメントがあり、外見、技術に加えて、フィギュアスケートへの真摯な取り組み方が人気の要因となっていることが読み取れます。

総合2位には、世界4大会などで活躍し、世界ランキング6位(2015年9月末時点)の錦織圭選手がランクイン。男女別ランキングでは男子1位、女子2位と、男女ともに支持を集めました。好きな理由としては、「カッコいい」、「上手い」、「強い」、「世界に通用する選手だから」というコメントが寄せられ、世界を舞台に活躍している姿に子どもたちが憧れている様子がうかがえます。

総合3位には、ソチオリンピック金メダリストの羽生結弦選手がランクイン。好きな理由として、「カッコいい」、「演技がすごい」というコメントに加え、「震災にあっても頑張っているから」、「被災地を大事にしているから」などのコメントも寄せられました。

ランクインした選手に寄せられたコメントから、外見や技術だけでなく、選手の内面やスポーツへの真摯な取り組み方などが人気の要因であることがうかがえる結果となりました。

参考：好きなスポーツ選手(2013年9月調査)

(調査方法：記述方式、調査対象：小学1年生～中学3年生)

男女総合TOP10			
1位	イチロー	(野球)	5.3%
2位	本田圭佑	(サッカー)	5.1%
3位	北島康介	(水泳)	4.3%
4位	香川真司	(サッカー)	4.1%
5位	浅田真央	(フィギュアスケート)	3.1%
6位	ウサイン・ボルト	(陸上)	2.5%
7位	木村沙織	(バレーボール)	2.4%
8位	澤穂希	(サッカー)	2.3%
9位	錦織圭	(テニス)	2.1%
10位	リオネル・メッシ	(サッカー)	1.9%

※調査方法を変更しているため、今回(2015年)の結果との単純比較はできません。

【バンダイからのコメント】

今回は10月12日の「体育の日」や「スポーツの秋」にあわせ、子どもたちのスポーツへの関わり方および好きなスポーツ選手について調査しました。

好きなスポーツ選手では、今シーズンのフィギュアスケートで活躍が期待される浅田真央選手、羽生結弦選手に加え、現在世界ランキング上位に名を連ねる錦織圭選手などがランクイン。寄せられたコメントから、知名度や直近の活躍に加え、スポーツに取り組む姿勢や努力する姿が評価されていることがうかがえました。

体育の授業以外で取り組んでいるスポーツについて聞いたところ、子ども自らが「体づくり」をしたいという気持ちからスポーツに取り組んでいるケースが多く見られました。昨今、子どもの体力・運動能力が低下傾向にあると言われているなか、子ども自身も問題意識を持って積極的に取り組んでいる頼もしい様子が垣間見えました。

スポーツに関する話題が盛り上がるこの季節。積極的にスポーツに取り組む子どもたちがさらに増えていくことを期待しています。

■調査概要

【調査目的】 スポーツへの関わり方について実態を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 小学2年生、5年生、中学2年生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】 2015年9月4日(金)～9月6日(日)

【サンプル数】 840人

【構成】

(全体)	小学 2年生	小学 5年生	中学 2年生
男子	140人	140人	140人
女子	140人	140人	140人

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>